

泉陽会
会報

編集発行・大阪府立泉陽高等学校

同窓会 泉陽会

〒590-0943 堺市堺区車之町東3丁2番1号
大阪府立泉陽高等学校内
TEL (072) 227-6030
FAX (072) 232-0005
URL <http://senyokai.jp/>

印刷：宏和印刷株式会社 代表取締役 八十 亨(27期)

令和3年度 総会



雨に降られずに、コロナ禍に対し措置をとり、総会が無事終了しました。ご報告致します。

- 開催日時 ;
令和3年4月4日(日) 午前10時30分～12時
- 開催場所 ;
泉陽会館2F集会室
- 参加人数 ;
○校長・教頭・事務長・元校長 6名
○役員 24名
○代議員・会員(S26～S55) 11名 計 41名

当初出席を予定されておられた代議員の方もコロナを注意されてか欠席されておられたようです。

「総会」の進行と内容を報告します。

- 岡本組織委員長(S52年卒29期)より、司会進行・開会の辞がなされました。
- 君が代・校歌・旧校歌につきましては石毛明生氏(昭和54年卒31期)にピアノ伴奏をして頂き、出席者による斉唱は中止しました。
- 伊藤裕康泉陽会会長挨拶
- 武田温代(はるよ)学校長挨拶
- 藤原大教頭より、本年度の教職員の異動が述べられました。「議案書」に基づく議事に入る前に、今西和代副会長(昭和42年卒19期)が議長に選出されました。同時に「議事録署名人」に吉野学氏・富田博子さん(両名昭和46年卒23期)が推薦されました。



議案の審議について報告致します。

議案No.	議題	審議内容	議案No.	議題	審議内容
第1号議案	令和2年度事業報告	可決・承認	第5号議案	令和3年度予算(案)	可決・承認
第2号議案	令和2年度決算報告	可決・承認	第6号議案	記念事業積立金の最終案	可決・承認*2
第3号議案	令和2年度会計監査報告	可決・承認	第7号議案	緊急事態時総会議案決議方法代替案及び会員への伝達方法について	可決・承認
第4号議案	令和3年度事業計画(案)	可決・承認*1	第8号議案	泉陽会委員会組織再編の件	可決・承認

*1 晶子フォーラムは本年6月開催予定と発言ありました。

*2 「食堂空調機器設置」について見積書が2社提出されていますが地元の業者に工事依頼との要望が2名の方からありました。

来年度(令和4年度)の総会は、2022年4月3日(日)10時30分の予定です。懇親会は今のところ未定です。変更などありましたら、ホームページで案内させていただきます。

読後アンケートにご協力ください

昨年度は13件のご回答をちょうだいしました。ご協力ありがとうございました。今年もいづみの誌面のさらなる魅力づくりのために、読後アンケートにご協力ください。スマートフォンなどから、右のQRコードでアクセスいただければ、アンケート回答のホームページが開きますので、項目に従ってご回答いただければ幸いです。直接アクセスする際は、次のURLとなります。<https://forms.gle/HE3rVoLZFUoyogF56>



住所変更はこちらから



会長挨拶

泉陽会の皆様へ 私たちは普通の生活を待ち望んでいます

泉陽会会長 伊藤 裕康(昭和44年卒・21期)

新緑の候、皆様お元気にお過ごしのことと存じます。

令和2年度の日本十大ニュースのTOPは「新型コロナウイルス感染拡大、緊急事態宣言発令」です。令和3年を迎えても刻一刻伝えられる新型コロナウイルスの新規感染者数は、増加の傾向にあります。(令和3年4月現在)残念ながら新型コロナウイルス感染症に対する終息への道のりが示されていません。3密回避が引き続き重要となりますので周りの情勢を検討しながら、泉陽会の運営をしていきたいと思っております。

● 泉陽会の主な活動の内容を報告します。

* 総会開催

令和3年度「総会」は4日(日)来賓・役員・会員の皆様合わせて41名の方が出席のもと、ウイルスへの対策を講じ、無事終了致しました。

* 懇親会・クラブ交流会開催中止

旧交をあたため、楽しく歓談できる懇親会は今年も中止しました。令和元年6月開催の第1回「クラブ交流会」は、71名が参加。「是非 次回も」というみなさんの要望が多くありますが、現状から判断して開催不可能と結論をだしております。

* 年会費は令和2年度より、コンビニより送金ができます。

* 名簿管理・いづみ発送について→業務委託が開始されました。令和2年度上記の作業につきましては、全て「(株)サウト」へ委託することにより終了しました。今回が初めての試みで色々問題点があると思います。みなさんのご意見をお聞かせください。

● 二人の先輩を紹介致します。

——橋田壽賀子さんのご冥福をお祈りいたします——

「いづみ」原稿作成の途中に、「橋田壽賀子さん」死去が伝えられ、私としての思いを述べさせていただきます。

* 脚本家・橋田壽賀子さん(昭和18年卒・高女41期)

令和2年度文化勲章受章の報に接し、泉陽会として祝電をさしあげました。令和3年4月4日死去がテレビ等にて伝えられました。橋田さんの紹介されるプロフィールには堺での出来事はあまり伝えられておりません。「おしん」の場面の中に「君死に給う…」を二人の俳優さんが朗読されています。ドラマを通して、橋田さんの「故郷・堺」を思う気持ちが十分に伝わってきました。朝日、読売新聞には橋田さんの母校として大阪府立堺高等学校(現泉陽高等学

校)と掲載されています。

次に、朝日新聞のインタビューに応えた私のコメントを記載致します。120周年記念誌の原稿を橋田さんに依頼したところ、「高齢だし、今はあまり筆もとっていません」と本人から辞退する手紙が届きました。私は「一度お会い出来たらと思っていました。亡くなられたのは非常に残念。」と率直にのべました。

橋田さんが、生前語られた様々な分野に於けるメッセージの一つずつが教訓となり生きていく上の糧となります。(前略)人は人を殺してはいけない。戦争は絶対駄目、戦争程怖いものはない。原点になったのは橋田さんの自らの戦争体験です。「戦争は絶対駄目」の一言に、私も心より賛同します。まだまだ私の人生に与えた多くのメッセージがあります。これらの内容を大切に受け止め、余生に活かしたいと思っております。

* 画家・和田武子さん(昭和26年卒・3期)

平和の大切さを訴える気持ちが読売新聞に掲載されました。タイトル「戦火免れた絵 平和感じて」—戦後75年—(読売新聞 令和2年8月13日 HP「夢・感動・泉陽」掲載)

1945年7月10日の堺大空襲で焼け残った「H.T.O.Y.A.M.A」と署名のある風景画の油絵と焦土と化した堺、焼け残った体育館と鉄筋校舎が見える写真が記事に挿入されています。和田武子さんは「校舎が焼けた中、絵画が残っていたことは喜ばしいこと。平和の大切さを伝えてほしい」と述べられています。「風景画の油絵」については「堺市立平和と人権資料館(堺市中区深井 電話072-270-8150)」へ連絡すれば拝見させて頂けるとのことです。

戦争を体験された両氏より、平和の尊さを学ぶことができました。本年度より、「晶子研究会」への泉陽会として参加を復活させ、石崎洋興氏(昭和33年・10期)に代表になって頂きました。

「追 伸」

* 120周年記念事業として総会でご承認いただきました泉陽高校食堂空調設備の設置につきましては学校の夏休み中に完成予定で動いています。

泉陽会のこれからの運営に、皆様のご支援ご協力よろしく申し上げます。



校長ご挨拶

泉陽高等学校 校長 武田 温代

泉陽会の皆さま、泉陽高校の校長として4年目を迎えました武田温代です。今年度は再任用校長2年目として引き続き泉陽高校の校長を務めさせて頂くことになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年恒例の4月第1日曜日に泉陽会が開催されました。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言下で中止になりましたので、2年ぶりの開催でした。新型コロナウイルス感染防止のため、「君が代」「泉陽高等学校校歌」「堺高等女学校校歌」は本校卒業生の石毛教諭によるピアノ演奏でした。泉陽会の方々のお元気で力強い歌声を聞くことができなかったのが、とても残念でした。しかし、2年ぶりにお会いした泉陽会の方々の元気なお姿と笑顔から、この1年間、泉陽高校の校長としてやり切るパワーをいただきました。また、ご存知のとおり本校は昨年度、創立120周年を迎えました。予定していた記念式典、記念祝賀会は新型コロナウイルス感染防止のため、中止になりましたが、記念事業として食堂

空調機器設置の寄付をしていただけることになりました。本校の教育環境の充実や向上が見込まれ、生徒だけでなく保護者や同窓生・来校者にとっても有意義になると考えています。同窓会の皆さまには多くの心遣いをいただき、心より感謝申し上げます。

さて、コロナ禍での「新しい生活様式」の中で、受験生として過ごした73期生355名がこの春無事、泉陽を旅立ちました。進路状況ですが、国公立大学では大阪大学9名、神戸大学6名、大阪市立大学医学部1名をはじめ、北は北海道大学から南は琉球大学まで合計147名が希望した大学へ進学を決めました。国公立大学進学者は卒業生の41.1%を占め、過去最高値になりました。4年後、大学を卒業して東京支部の一員になるかも知れません。その節は、泉陽会東京支部の皆さま、どうぞよろしくお願い申し上げます。昨年度、Society5.0に向けた環境整備計画の一つであるGIGAスクール構想の準備として、本校でもすべての教室に無線LANが設置されました。この秋には、生徒にも一人1台のタブレット端末が配布され、デジタル教科書やオンライン



での課題の提出、ペーパーレス化など学びへのアプローチも変化していきます。

そのような中であっても、「『世のため人のため、世界のため』という社会貢献意識を強く持ち、気品に溢れる、情操豊かな生徒を育て、その進路実現を叶える」という学校目標を継続してまいります。

皆さま方におかれましては、生徒が卒業後も将来にわたって幸せを実感できる泉陽高校であり続けるため、今後とも様々なご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年度事業報告

1. 事務局

◎会議(執行委員会、代議員会)の状況の報告

●執行委員会

Table with 3 columns: 年月日, 内容. Rows 1-10 detailing meeting dates and topics from April 2021 to February 2022.

●代議員会

Table with 3 columns: 年月日, 内容. Rows 1-3 detailing board meeting dates and topics from October 2021 to February 2022.

◎会館使用状況の報告

●会館運営

泉陽会館 使用状況(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

主なものを記載

- ・執行委員会 8回(代議員会含む)
・床清掃 8回(8月に床剥離清掃実施)
・学校使用 145回
・同窓会 49回
(内訳:むすびの会、混声合唱団「陽」、コールいづみ、ダンス部)

2. 組織委員会

◎総会

新型コロナウイルス感染予防の為、令和2年度4月5日(日)の総会・懇親会は一旦延期しました。しかし収束後開催予定でしたが、見通しが立たない為例年通りの泉陽会館での開催は断念しました。今回は代替案として各学年の代表である代議員の皆様様に議案書を送付し、賛否を投票いただく形といたしました。また会員の皆様へは毎年発行しております「いづみ」に総会議案書を掲載し、意見・決議聴取を行いました。令和2年度総会は新型コロナウイルスの影響で異例の形となりましたことをご理解ください。

◎「公開講座」は年2回実施の予定について

- 令和2年7月:講演者 若谷 佳美様(昭和55年・32期生)さんを予定していましたが、新型コロナウイルス感染予防の為中止しました。中止の連絡についてはホームページに掲載しました。
●令和2年12月:講演者未定のみまで、新型コロナウイルスの感染予防の為中止しました。

◎文化部・運動部「クラブ交流会」第2回開催について

- 前回の参加者より、次回の開催の強い要望がありましたが、開催日の未定のみまま、新型コロナウイルス感染予防の為、中止せざるを得ませんでした。

◎三国丘高校との交流会について

- 開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染予防の為開催を見送りました。

◎「二十歳の会」成人式を迎える卒業生の同窓会開催の報告

- 開催日時:令和3年1月8日
●開催場所:ホテルアゴラ・リージェンシー堺
●対称卒年:平成31年卒・71期生
●参加者数:230名(卒業生320名)
当初教職員3名の参加が予定されておりましたが、学校側より、「参加不可」との指示があり、参加できませんでした。例年通り、泉陽会から、通信費等の若干の支援をしました。

3. 広報委員会

◎ 広報誌「いづみ」の価値向上

- 創立120周年にあわせて、泉陽高校出身の著名人からの記事投稿を依頼する方針でした。読後アンケートは表紙に配置し、回答数の増加を目指しました。著名人の記事については、コロナ禍による120周年記念事業の縮小機運のため、中止としました。代替として、フェニーチェ堺のエグゼクティブプロデューサーの佐野さんのインタビュー記事の掲載を試みました。読後アンケートは表紙に掲載し、前年度の回答7件から13件になりました。
●「いづみ」の作成については、新型コロナウイルスの影響で封緘作業の中止の決定に時間がかかった、などの影響で発行が10月にずれ込みました。
●令和2年度の「いづみ」発送は、新型コロナウイルス感染予防のため例年の封緘作業は中止とし、(株)サラトに委託しました。印刷の出来上がりが10月26日、(株)サラトへは10月30日午前中に搬入、会員のみなさまへは11月19日にサラト経由で日本郵便から発送されました。
◎ホームページのアクセス数増加の取組み
●少なくとも月1回の更新、ホームページの更新担当者を増員する予定でした。記事募集のルートの新規作成も試みましたが、未実施となりました。

4. 財務委員会

- 令和2年会計年度における入出金の管理
●年会費のコンビニ支払いを継続。

5. 名簿委員会

会員数現況報告

Table with 3 columns: 項目, 令和3年3月末, 令和2年3月末. Rows: 総会員数, 新会員数, 物故者数, いづみ発送部数.

◎「名簿管理→業務委託」に対する方針・実施の報告

- 令和2年11月発行「いづみ52号」に掲載されています。
◎ 提携内容と経過について
●(株)サラトと泉陽会と二元管理をします。
今年度の初期設定費用10万円は現在の業務が継続しておれば、無償となります。
●新卒業生のデータは(株)サラトが入力後、同じデータを、泉陽会のパソコンに入力します。(株)サラトにて新卒業生(令和2年)のデータを9月5日までに入力完了。

- 今後、受けました住所等変更・訂正を名簿担当者が作成の上、内容を(株)サラトに伝えます。
- 令和2年12月12日に(株)サラトと打合を実施
 - ・いづみ発送時の書式の不備がみられた。
 - ・会員番号の未記載 等

6. むすびの会委員会

- ◎令和3年1月末現在会員数
 - 男性 27名
 - 女性 30名(入会者5名)
- ◎発足(平成6年)から令和2年までの成立128組
- ◎公開閲覧会・秋の会員と委員懇親会・新春の懇親会
新型コロナウイルス感染予防の為、中止にしました。
- ◎会員の閲覧の変更
毎週土曜日14時～16時から、第2・第4土曜日14時～16時の予約制にしました。
- ◎休会
緊急事態宣言期間及び感染拡大の期間(4月～7月、12月)を休会にしました。
- ◎現会員の期限を1年延長

7. 同好会

7.1 「晶子研究会」

- ◎令和元年度より「晶子研究会」は廃部しております。
- ◎令和2年12月19日 第8回 執行委員会にて、和田武子さ

ん(昭和26年卒・3期)より、代表に石崎氏(昭和33年卒・10期)にお願いし、「晶子研究会」の復活の提案あり、承認されました。

- ◎令和2年5月25日(金)福祉会館にて「晶子フォーラム」開催の予定でしたが、コロナウイルス感染予防の為、中止となりました。

7.2 ゴルフ同好会

令和2年度 ゴルフコンペ日程表

定例会合	開催日時	開催場所	
第134回	令和2年3月13日(金)	天野山C.C.	中止
第135回	令和2年5月15日(金)	天野山C.C.	中止
第136回	令和2年9月11日(金)	天野山C.C.	中止
第137回	令和2年12月17日(金)	天野山C.C.	開催

7.3 混声合唱団「陽」

- ◎令和2年度活動報告
 - 練習回数 1回(内泉陽会館使用 1回)
- ◎ステージ回数 0回
 - 大阪府合唱祭
令和2年6月9日(日) SAYAKAホール 中止
 - 関西混声合唱フェスティバル
令和3年2月11日(月・祝) 豊中文芸ホール 中止

令和3年度事業計画

令和3年度事業計画については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、現時点に於いて既に中止・延期・変更等をせざるを得なかったものがあります。また、今後についても、中止・延期・変更等をする場合がありますのでご了承願います。

1. 総務委員会

- 令和3年度日程を作成、これに基づき活動する。
- 事業継続(在校生支援活動)
- 会議 執行委員会 月1回(8月は休み。)/代議員会 年3回
会議開催の前日の金曜日の午前中に清掃業者による床清掃
慶弔規程により電報等の発信
- 卒業証書入れ(A4両開きファイル)の贈呈
- 各委員会の会議記録、資料作成、備品等の管理・保管
- 会館運営管理
- ◎名簿担当
- 宛名シール作成依頼、発送業務については、令和3年度も(株)サラトへ依頼します。
- (株)サラトと泉陽会との二元管理を前提に今後も引き続き打合せをします。

2. 組織委員会

- ◎令和3年度の総会開催について
- ◎「公開講座」年2回実施について
- ◎文化部・運動部「クラブ交流会」第2回の開催について
- ◎三国丘高校との交流
上記4件の課題に付きましてはコロナの状況を判断の上、開催をお知らせします。
- ◎「20歳の会」の支援
引き続き成人式を迎える卒業生の同窓会に対し、支援をします。

3. 広報委員会

- ◎広報誌「いづみ」の価値向上
 - コロナ禍の影響で投稿記事が大幅に減少することが予想されます。また、令和2年度の発行からの期間がいつもより短いことも記事量の低下につながる可能性が高いです。その中でもなんとか充実した誌面づくりを目指します。
- ◎ホームページのアクセス数増加の取組み
 - 少なくとも月1回の更新を目標とします。
 - ホームページの更新担当者を増員する。
 - 記事募集のルートを新規に作成します。

4. 財務委員会

- 令和3年会計年度における入出金の管理
- 年会費のコンビニ支払いを継続。

5. むすびの会委員会

- ◎新型コロナウイルス収束の予測が立たないので行事は行わない。
- ◎会員の閲覧
第2・第4土曜日 14時～16時 予約制で行う。なお緊急事態宣言期間・府の要請がある場合・感染急拡大時は、随時休会にします。

6. 同好会

6.1 晶子研究会

- ◎毎年5月に開催されます「晶子フォーラム」は計画の見通し
がつかないと堺市の担当者から返答を頂きました。

6.2 ゴルフ同好会

令和3年度 日程表

定例会合	開催日時	開催場所
第138回	令和3年3月19日	天野山C.C.
第139回	令和3年5月未定	天野山C.C.
第140回	令和3年9月未定	天野山C.C.
第141回	令和3年12月未定	天野山C.C.

6.3 混声合唱団「陽」

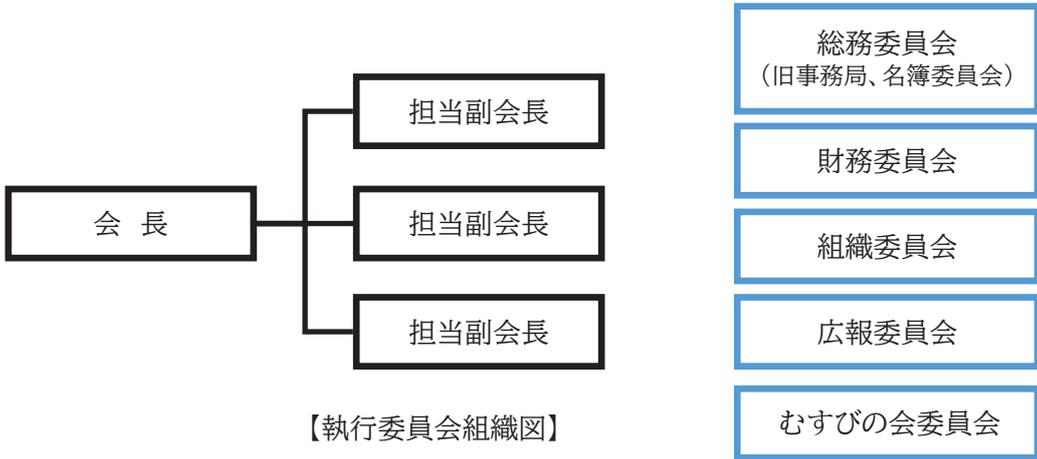
- ◎令和3年事業計画
 - 練習回数24回(内泉陽会館使用予定21回)
- ◎ステージ回数2回(変更、中止の可能性あり)
 - 大阪府合唱祭
令和3年6月13日(日) 大阪狭山市 SAYAKAホール
 - 関西混声合唱フェスティバル
令和4年2月11日(金・祝) 豊中文芸大ホール

令和2年度収支決算報告(令和2年1月1日から令和2年12月31日)
令和3年度予算(令和3年1月1日から令和3年12月31日)

収入の部				支出の部				
科目	令和2年度 予算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	科目	令和2年度 予算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	
入会金	3,231,000	3,231,000	3,213,000	組織委員会	総会費	800,000	30,976	100,000
年会費	4,500,000	2,460,000	4,200,000		事業費	300,000	55,850	300,000
預金利息	1,000	35	1,000	事務局	事務費	800,000	831,709	800,000
その他収入*1	30,000	63,000 (明細A)	30,000		会館運営費	250,000	249,553	200,000
総会懇親会負担金	180,000	0	0		会合費	200,000	0	150,000
むすびの会	50,000	100,000	100,000	財務委員会	慶弔費	50,000	20,000	50,000
前年度繰越金	4,299,759	4,299,759	3,918,457		親睦費	200,000	50,000	200,000
合計	12,291,759	10,153,793	11,462,457		教育振興費	400,000	120,000 (明細B)	300,000
					卒業記念品	250,000	281,815	400,000
					振込料等	250,000	138,182	250,000
明細A その他収入				広報委員会	印刷代	1,200,000	731,500	1,400,000
金額			発送費		2,162,000	2,448,447	1,600,000	
寄付 宮村誠介さんS30年卒ご家族			50,000		IT管理	300,000	75,600	200,000
寄付 大西栄子さんS13年卒			10,000	むすび委員会		200,000	136,904	200,000
寄付 野田貞子さんS6年卒ご家族			3,000	名簿委員会	消耗品費	50,000	0	100,000
合計			63,000		PC機器	0	64,800	0
明細B 教育振興費				修繕積立金	0	0	0	
金額				記念事業積立金	1,000,000	1,000,000	0	
水泳部全国大会			30,000	小計	8,462,000	6,235,336	6,250,000	
第75回大阪高校総合体育大会			30,000	予備費	3,829,758		5,212,457	
ダンス部全国大会			30,000	次年度繰越金		3,918,457		
第13回日本高校ダンス部選手権			30,000	合計	12,291,758	10,153,793	11,462,457	
陸上部全国大会			30,000					
全国陸上競技大会2020			30,000					
水泳部近畿大会			10,000					
第4回近畿高校新人競技大会			10,000					
陸上競技部近畿大会・大阪選手権			10,000					
陸上競技部近畿大会・大阪高校総体			10,000					
合計			120,000					

泉陽会の体制変更

事務局は他の委員会と名称を統一させるため、総務委員会となりました。名簿委員会は昨年に名簿管理を業者委託し、諸事情で執行委員も減少していることから、総務委員会に統合することとなりました。



令和2年度 広報誌いづみ(第52号) 読後アンケート

令和2年度の読後アンケートの結果は、下記のとおりです。『字が小さくて読みにくい』とのご意見が寄せられましたので、今年度はフォントや行間をゆったりとしてみました。ご感想、お待ちしております。

1. 回答件数

昨年度	回答 7件(～30期2件/30期～4件)
今年度	回答 13件(21～30期5件/31期～69期8件)

回答の年度が、比較的若い世代まで広がってきている(64期3名、69期1名)。表紙に掲載することで、反応率が向上したと考えられる。

2. 【Q02】よかった記事を教えてください(複数回答可)

旭堂南陵さん、佐野光徳さん、並びに『卒業生は今』など、卒業生に関連する記事はおおむね好評であった。母校の動向に関する記事も引き続き関心が高い傾向がある。

3. 【Q03】どのような記事に興味がありますか(複数回答可)

多くの方が複数回答としており、泉陽高校、泉陽会、OB・OGなど、全般的な要素へのご要望が寄せられている。

4. 満足度

- 記事の量 : 満足7票/普通6票
- 記事の質 : 満足6票/普通7票
- 読みやすさ : 満足2票/普通7票/不満4票
- 総合満足度 : 満足6票/普通7票

読みやすさについては、『字が小さい』などの意見がよせられていることが不満にあらわれている。記事の纏め方に工夫が必要である。

5. 会費納入者の掲載への意見

賛成1票/どちらでもない10票/反対2票

- 必ず氏名を掲載ではなく、匿名希望もあれば嬉しいです。
- 掲載することで納入しない方の納入につながるのか疑問があります。
- 前記の通り、送付は希望者のみに。会費納入者のみへの送付にしても良いと思う。
- ご本人の了解があればよいと思います。
- 必ず氏名を掲載ではなく、匿名希望もあれば嬉しいです。

6. 記念事業への積立金への活用について

- 現状を見ていないので難しいですが、本来、生徒たちの生活環境の改善は、府立高校であれば府の行政の中で完結すべきと考えます。記念事業としては、足りないものを補うための経費ではなく、歴史に残ること、母校の発展に直結することに活用いただく方がよろしいのではないかと考えます。
- 現役生の学校生活に役立つものにしていただければと思います。

- いつも冊子を送ってもらうが、正直な話、読むところは限られている。昭和30年後半あたりから納入率が極端に下がるのでした。諸先輩方の会費で当方以下の紙面代、送料を補ってもらうのは申し訳ない。時代と言えばそれまでだけど、自分の出身高校への思い入れというのが、どんどん薄れているんだろう。また、確かに私も泉陽高校を卒業したが、私の知っている泉陽高校と、今の泉陽高校は全く別のものであるという感覚がある。今回初めてHPを見たが、過去の会報も読めるし、そろそろ紙媒体はいらないんじゃないですか。会計を見たが、よくわからない。入会金300万円、って、卒業生からお金をもらっているの？全員から？もしそうなら、やめるべきでは？積立金もものすごい額ですね。年一回だけの会誌送付に対して、もらい過ぎていた事になりませんか？学校設備に寄付、って、何か違うような気もしますが。絶対必要な設備というのは税金で補うべきでは？記念事業で本をもらっても、記念品をもらっても、全く意味がないでしょうね。そういう意味でも有効な使い道をお願いしたいけど。いっそ、まとめてどこかへ寄付した方がいいのかも。
- 積立金はあまり残高が多く残りすぎるのは好ましくない、と聞いたことがあります。
- 今年のような予期せぬ事情への対応に学校は大変なご苦労をされていると思います。具体的には思いつきませんが、記念事業費の枠にとらわれず、負担が増えた部分に対する補助金などに使えないものでしょうか？

7. その他のご意見

- 字が小さいのもう少し大きくしていただきたく存じます
- そろそろ、希望者だけへの送付にすればいかが？
- Web投票のQRコードに繋ぐと生年月日の記入が必須と求められますが必要性が不明です。記入したくありません。
- 佐野光徳さんへのインタビュー、お話をいただいた内容に忠実に、というのわかりますが、少し長過ぎでは？また、我々細かい字を読むのが億劫な年代には字が細かく見ただけで読むのをためらってしまいました。
- “佐野光徳さんのインタビュー記事を拝読しました。とても興味深い記事でしたが、横書きかつ段落が少ないことで目が滑ってしまいました。お手数をお掛けすることになりますが、章ごとに分けて見出しをつけるか、インタビューする側の質問を入れるか、などしてブロックを分けていただけるとありがたいです。”

令和2年度 教職員異動

2021. 4. 1 現在

転 出					転 入				
職名	教科	氏 名	転出先	備 考	職名	教科	氏 名	転入元	よみがな
教諭	国語	藤原 康男	泉大津高(非常勤講師)	定年退職	教諭	数学	藤林 則孝	教育センター附属高	ふじばやし のりたか
	数学	伊藤 梨緒	成城高(定時制)			数学	山本健太郎	四條畷高	やまもと けんたろう
	数学	上田 光男	本校(代替講師)	再任用満了		理科(物理)	牧 友祐	三国丘高(定)	まき ともひろ
	数学	西浦 珠代	岸和田高			理科(化学)	塩川 真人	神奈川県立高教諭	しおかわ まこと
	理科	朝倉 麻友	大阪府教育センター			理科(生物)	加藤 励	平野高	かとう れい
	理科	猿田 敦子	本校(非常勤講師)	再任用満了		保健体育	中田 康子	登美丘高	なかた やすこ
	保健体育	城野 克子	和泉総合高			情報	北池 寿行	堺東高	きたいけ ひさゆき
	芸術(音楽)	石毛 明生	本校(再任用)	定年退職		再任用	数学	鳥山 祐一	鳳高(定年退職)
実習教員	英語	古川 晃	堺東高(再任用)	定年退職	実習教員	芸術(音楽)	石毛 明生	本校(定年退職)	いしげ あきお
		野村 克世	本校(再任用)	定年退職	再任用(実習教員)		西野 瑞紀	(新採用)	にしの みずき
講師		橋元 勝利	佐野工科高				野村 克世	本校(定年退職)	のむら かつよ
	地歴公民	中小路伸矢	本校(非常勤講師)	退職	講師	理科	杉中 周平	本校(退職)	すぎなか しゅうへい
	数学	北山 哲平	枚方なぎさ高(常勤講師)	退職	事務	主査	森 和美	佐野高	もり かずみ
	理科	沖殿 佳祐	りんくう翔南高(新採用)	退職	事務(再任用)	校務員	清水三代	佐野高	しみず ふみよ
事務(再任用)	理科	杉中 周平	本校(常勤講師)	退職					
	主査	篠森 周治	河南高						
事務	校務員	松永 洋一	狭山高						

令和2年度(73期) 母校の進路状況

国公立大学合格者数

大学名	学部名	2021年度	
		現役	既卒
北海道	農・文・理	2	1
筑波	理工・社会国際・人文・体育		1
千葉	教育	1	
東京農工	工	1	
電気通信	情報理工	1	
横浜国立	理工・経済・都市科学		1
金沢	人間社会・理工・医療保健	1	
	医学(医)		1
信州	保健・工・農・理・繊維・人文	3	
静岡	工・情報・教育	1	
三重	生物資源・工・人文・看護	2	3
	医学(医)		
滋賀	経済・データサイ		
京都	理・工・医(保健)・農		
京都教育	教育	2	
京都工芸繊維	工芸科学	1	
	文・法	2	
	外国語	1	1
	経済		
	理・工・基礎工	4	2
	医学(保健)	1	
	薬		
	人間科学	1	
	小計	9	3
大阪教育	教育	15	
	経済・経営・法	3	3
	国際文化・文・発達科学		
	理・工	2	2
	農		1
	医(保健)	1	
	海事科学		
	小計	6	6
兵庫教育	学校教育		
奈良教育	教育	2	1
奈良女子	文・理・生活環境	3	1
	観光	5	
	経済	11	
	教育	5	
	システム工	10	1
	小計	31	1
鳥取	工・農・生命科学・保健	1	
岡山	法・工・経済・薬・文・保健		
	経済・工・理・文・法・教育	3	
	医学(医)		
	理工・薬・総合科・生物資源	3	
	医学(看護・栄養・保健)		1
	医学(医)		
愛媛	理・工・教育・農・社会共創	2	
	医学(医)		
九州	工・理・芸術工・農	1	
長崎	薬・多文化・環境	1	
琉球	観光・農・工・国際・教育	1	
	国立大学合計	93	20

私立大学の合格者数

大学名	2021年度	
	現役	既卒
青山学院		2
慶應義塾		1
工学院	1	
千葉工業	1	
中央	3	1
東洋	1	2
日本		1
法政		1
明治	2	
京都外国語	1	
京都産業	3	1
京都女子	23	
京都橘	3	
京都薬科	3	1
同志社	26	18
同志社女子	19	1
佛教	13	
立命館	25	22
龍谷	21	7
追手門学院	5	2
大阪歯科	1	
大阪大谷	3	
大阪音楽	1	
大阪経済	7	1
大阪経済法科		
大阪芸術	2	
大阪工業	15	9
大阪産業	7	
大阪学院	2	
大阪体育	1	
大阪電気通信	1	5
大阪医科薬科	9	1
関西	170	29
関西医療	8	
関西外国語	10	
川崎医療福祉		
近畿	212	65
四天王寺	13	
摂南	11	7
帝塚山学院	10	
阪南	2	
桃山学院	20	
桃山学院教育	6	
森ノ宮医療	1	
大和	8	
関西学院	76	16
甲南	7	
神戸学院	2	
神戸女学院	2	
神戸薬科		1
兵庫医科	1	
武庫川女子	73	
畿央	36	
立命館アジア太平洋		1
私立大学計	867	195

関関同立近の合格者数

大学名	学部名	2021年度	
		現役	既卒
同志社	神		
	文	2	1
	社会		3
	法	6	1
	経済		5
	商	2	4
	政策		
	文化情報	1	
	理工	7	7
	生命医科学	1	
	スポーツ健康科学		
	心理	2	
グローバル・コミュニケーション	2		
グローバル地域文化			
計	26	18	
立命館	文		1
	産業社会	1	2
	国際関係		
	法	4	4
	政策科学	3	
	経済		2
	経営	5	3
	情報理工		
	理工	4	7
	生命科学		2
	薬	1	
	映像		
食マネジメント			
スポーツ健康科学	7	1	
総合心理			
計	25	22	
関西学院	神		
	文	16	
	社会	6	
	法	9	
	経済	13	6
	商	10	2
	人間福祉	4	
	国際	2	
	教育	3	
	総合政策	3	2
	理・工	4	
	生命環境	2	
建築	4	6	
計	76	16	
関西	法	14	3
	文	39	4
	経済	16	3
	商	16	2
	社会	16	
	政策創造	2	3
	外国語	2	
	人間健康	15	
	総合情報	4	
	社会安全	5	1
	システム理工	23	3
	環境都市工	7	2
化学生命工	9	8	
計	168	29	
近畿	法	12	5
	薬	13	2
	経済	22	8
	経営	22	7
	理工	37	11
	農	37	5
	建築	11	1
	文芸	31	5
	総合社会	25	2
	国際	9	1
	生物理工	7	
	工	1	
医	1	1	
産業理工		1	
計	228	49	

大学名	学部名	2021年度	
		現役	既卒
横滨市立	国際教養・国際商	2	
長野県立	グローバル	1	
岐阜薬科	薬	1	
滋賀県立	工・人間文化・環境科学・人間看護	3	1
京都府立	生命環境・文・公共政策	1	
京都府立医科	医(看護)	1	
	文	3	
	法	2	
	経済	2	
	商	3	1
	医(医)	1	
	医(看護)	1	
	理		
	工	3	1
	生活科学	2	
	小計	17	2
	現代システム科学・知識情報	2	
	現代システム科学・環境システム	4	
	現代システム科学・マネジメント	1	1
	工学・電気電子		
	工学・機械	1	
	工学・物質化学	1	
	生命環境科学・獣医		
	生命環境科学・応用生命科学		
	生命環境科学・緑地環境科学	1	1
	生命環境科学・理学・自然科学		2
	地域保健学・看護	1	
	地域保健学・理学療法	2	
	地域保健学・作業療法		
	地域保健学・栄養療法		
	地域保健学・教育福祉	2	
	小計	15	4
神戸市外国語	外国語	1	
神戸市看護	外国語(第2部)		
	看護		
兵庫県立	経営・環境人間・社会情報	1	
	理・工	2	
	看護		
奈良県立	地域創造	1	
奈良県立医科	看護	1	
	保健看護	4	
和歌山県立医科	医学(医)		
	医学(薬)	2	
岡山県立	情報工		1
山口東京理科	工		1
北九州市立	外国語・文・法・経済	1	
長崎県立	経済・看護栄養		
	公立大学合計	54	9
国立大学合計		147	29
		176	

大学等の合格状況(まとめ)

		四年制大学				短期大学		大学校	専門学校	公務員	就職
		国立	公立	私立	海外	国公立	私立				
73期生	男	49	26		1	0	0	0	0	0	0
	女	44	28		1	0	4	0	12	1	0
	計	93	54		2	0	4	0	12	1	0
既卒生	男	18	8		0	0	0	1	0	0	0
	女	3	0		0	0	0	0	0	1	0
	計	21	8	867	0	0	0	1	0	1	0

大学合格数(延べ人数)の推移

	62期生	63期生	64期生	65期生	66期生	67期生	68期生	69期生	70期生	71期生	72期生	73期生
卒業生数	315	317	318	399	353	398	394	352	397	392	359	355
国公立大学	65	62	87	94	116	128	148	126	133	127	122	147
私立大学	20.6%	19.6%	27.4%	23.6%	32.9%	32.2%	37.6%	35.8%	33.5%	32.4%	34.0%	41.4%
私立大学	398	401	487	656	517	767	884	536	796	840	983	867

進路決定状況

		四年制大学				短期大学		大学校	専門学校	公務員	就職	未定
		国立	公立	私立	海外	国公立	私立					
73期生	男	44	23	57	0	0	0	0	0	0	0	39
	女	40	26	107	0	0	0	0	5	1	0	13
	計	84	49	164	0	0	0	0	5	1	0	52
既卒生	男	18	8	12	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	3	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0
	計	21	8	15	0	0	0	0	1	0	0	0

東京支部 活動報告

東京支部より活動報告をちょうだいしました。昨年度はコロナ禍の影響で、例年の行事を縮小せざるを得ない状況となっていたとのことです。一日も早く、いつもの活発な東京支部に戻ることを祈念しています。

東京支部同窓会

昭和53年卒30期 天野純一

会員の皆様にはご健勝にお過ごしのことと、お慶び申し上げます。

早速ではございますが、2020年度の泉陽会東京支部の活動報告をさせていただきます。

周知のとおり世界的な新型コロナウイルスの蔓延により、2020年度は、春の江戸・東京散歩、5月の総会とも中止とさせていただきます。

秋の江戸・東京さんぽも中止を決定しかけたところで、一年間何も行事ができないのは、あまりにも寂しすぎるという少数意見を取り入れ、12月5日、冬の江戸・東京さんぽを実施しました。

当日はあいにくの雨模様、そして一月から二月並みの真冬の寒さの中、東京都美術館にて写真展を鑑賞し、上野公園を散策してまいりました。

「さんぽ」の第一部は、前述のとおり東京都美術館にて開催中の「第34回総合写真展」を鑑賞。今回のテーマは「瞬間をとらえる」で、「審査員奨励賞」を受賞された昭和40年卒の溝口忠憲氏の3作品を堪能してまいりました。

- 相馬馬追甲冑競馬の流し撮り
- 神戸岡本にて開催された令和元年奉祝だんじり巡行の踊り手
- 日立伝統芸能祭での琉球踊りを演じる子供たち

以上の溝口さんの作品は、いずれも躍動感あふれた素晴らしいものでした。

これらの作品を賞で、お祝いするのも「さんぽ」の大きな目的のひとつでした。



第二部は、以下の通り上野公園を、ゆっくりと散策いたしました。

上野東照宮～上野大仏～清水観音堂～彰義隊の墓～西郷隆盛像～花園稲荷神社

第三部は、昼食・懇親会。公園内にある明治八年創業の古民家造りの料亭「韻松亭」で、豆腐料理をメインとした本格懐石料理をいただきました。食事のあとはマスクをしたうえで、それぞれ自己紹介をするなどして、13名という少数の参加ながらも、和気あいあいとした楽しいひと時をすごすことができました。

年が明けて2021年2月13日、事務局をおく日本橋茅場町の私どもの会議室に事務局メンバーが集まり、2021年度の予定についての会議を行いました。

伝言板

コロナ禍の影響で、昨年度の同窓会報告はありませんでした。各期とも自粛や延期を余儀なくされたようです。12期、14期、21期からよせられた開催予定等です。今年度は、たくさんの同窓会報告が寄せられること、楽しみにしています。

12期生(昭和35年卒)同窓会延期のお知らせ

幹事一同

本年秋期に予定していました傘寿同窓会は、現在のコロナ禍の状況を勘案しまして来年に延期しますので、よろしくをお願いします。

14期生(昭和37年卒)第11回同窓会のお知らせ

幹事：菅田、奥辻

日時：令和3年11月7日(日) 13時～

会場：南海グランド東店

コロナで延期した最終同窓会を上記により開催します。詳細は9月にご案内致します。

21期生同窓会の連絡

幹事一同

本年5月12日に予定していました21期生同窓会をもう一年延ばして2022年5月11日(水)にシェラトン都ホテル大阪で実施します。

コールいづみ 団員募集!

こんにちは「コールいづみ」です。おかげさまで、この会報を見て、入会くださった方もあり、感謝しております。

今年からは、石若雅弥(52期)先生の楽しいオンラインレッスンも、体験しております。

さて、みなさま。今も「コールいづみ」は、団員を大大募集中です。特に男性は、少数ながら頑張っています。合唱は、アンチエイジング。月2回母校の生徒さんに会えば、元気いっぱいもらえます!

経験不問、性別不問、年齢不問、初心者大歓迎「コールいづみ」は、あなた様をお待ちしております。

月2回、月曜の午後 泉陽会館



泉陽会、いづみの歴史

泉陽会広報誌いづみは、今年で53号の発行となりました。創刊号の発行は昭和31年4月、創刊から65年となります。泉陽会の歴史とともに、いづみの歴史を振り返ってみました。

号	発行日	会長	主な記事や内容
創刊号	S31.04.01	島田 徳一	愛泉会として活動していた同窓会活動、野球部の甲子園出場を機に泉陽会として体制が確立される。これまで発行されていた機関誌「愛の泉」を発展的解消し、「いづみ」として創刊される。第七回春季選抜高等学校野球大会出場への寄付や決算報告が記載されています。
第2号	S33.03.15	島田 徳一	同窓生が一万人を超え、昭和35年の60周年記念事業に向けての取組みが報告されています。高校の課題として、戦災後に建てられた校舎の荒廃が進んでおり、改築問題が取り上げられています。
第3号	S35.10.07	島田 徳一	創立60周年記念式が昭和35年10月15日に開催されています。同窓会からは、プールが寄贈され、竣工式、祝賀会が昭和35年10月16日に開催されました。また、記念誌もあわせて発行されています。生徒歌の『思ふべし水上(安西冬衛作詞)』はこの60周年を記念に作って頂いたようです。
第4号	S40.03.01	大杉政之祐	在校生は1,500名と、生徒急増時期を迎えています。校舎も全面鉄筋化が近いことが報告されています。小説家の由起しげ子さんから『少年期の思い出は生涯の宝』という記事が寄せられています。
第5号	S41.03.01	大杉政之祐	鉄筋校舎の3階増築が完成しました。また、本館4階建鉄筋工事が着工されています。大阪市立大学、堺市役所、八幡製鉄内に同窓会組織があり、活発に活動されていたようです。現在は東京支部だけですが、このころは東海支部もあったようです。
第6号	S42.03.01	大杉政之祐	卒業生は551人、うち進学者249人、就職者113人でした。各々の時代の足跡として、『大正初期の府立堺高女』、『昭和初期』、『共学の頃』の3つの卒業生の記事が掲載されています。
第7号	S43.03.01	大杉政之祐	会則が変更され、行事委員会、名簿委員会、いづみ編集委員会と庶務委員会の委員会組織が結成されました。また、ゴルフクラブ、生物部OB会も結成されています。高校では、昭和42年度合唱コンクールで音楽部が最優秀に選ばれました。
第8号	S44.03.01	大杉政之祐	同窓会基金が会費制に変更されました。当時の会費は200円だったようです。橋田壽賀子さん(昭和18年卒)からの投稿記事が掲載されています。
第9号	S45.03.01	大杉政之祐	創立70周年を迎え、校旗が新調されました。掲載された母校の写真、現在の姿はこの数年の鉄筋工事で建築されたもので、今と同じ風景です。小説家由起しげさんの計報記事が掲載されています。
第10号	S46.03.10	大杉政之祐	70周年記念総会が10月2日に開催。会員の皆様の要望も多かった、同窓会会員名簿が発行されました。音楽部はNHK高校合唱コンクール大阪大会で最優秀、入賞を続けており、この年は近畿地方代表として全国コンクールに出場しています。
第11号	S48.03.01	小西 康弘	これまでは母校校長が会長を務めていましたが、大杉校長が退職するにあたって同窓会会員より会長を選任するしくみに改め、同窓生の、同窓生による同窓生のための同窓会に移行しました。70周年を記念して募金を募り、与謝野晶子の歌碑が建立されました。
第12号	S52.03.01	小西 康弘	陸上部が大阪・近畿両インターハイで総合初優勝し、長野県で行われた全国大会でも200m、1600mリレーで、いづれも高校新記録で優勝しています。女子バレーボール部も府立高校大会で4度目の優勝をあげるなど、音楽部も含めクラブ活動も顕著な成績をあげています。いづみの不着が課題となっており、来年度からは同窓会費を支払った会員のみにも配布することが報告されています。
第13号	S54.02.20	井上 和子	大阪府立泉陽高等学校野球部OB会(泉球会)が結成されました。昭和50年に結成されたなでしこコーラス、ママコーラス交歓会への参加など、活躍されていたようです。年会費は500円となりました。
第14号	S56.02.20	井上 和子	創立80周年を迎え、式典がいろいろと開催されています。9月1日には、市民会館にて橋田壽賀子さんの講演も行われています。いづみもこの年から、B5版16ページ刷りの現在の姿に近いものにリニューアルされました。また、この年から同窓会館の建設計画がスタートしています。母校では、映画部がNHK第4回ヤングフェスティバル入賞、音楽部がNHK学校音楽コンクール優秀賞、サッカー部が近畿大会出場と活躍しています。
第15号	S58.02.20	井上 和子	80周年を記念して、同窓会名簿が発行されました。いづみの特集記事は、『あの感動をもう一度!! 甲子園球児はいま…』として、当時の野球部員のインタビュー記事が掲載されています。
第16号	S59.02.20	原 喜三	昭和58年度総会で発足した同窓会館建設委員会により、現在の同窓会館の建設図面が決定されました。当初は3階建ての予定だったようです。泉陽会の委員会組織は、総務委員会、会則委員会、いづみ編集委員会、名簿委員会、同窓会館建設委員会、記録委員会、庶務委員会が設置され、同窓会館建設募金特別委員会が設置されました。
第17号	S60.02.20	原 喜三	橋田壽賀子さんが菊池寛賞を受賞したことが紹介されています。特集記事では、第1回東宝シンデレラコンテストで32,000人の応募者の中から栄冠に輝いた、昭和59年卒の沢口靖子さんのインタビュー記事が掲載されています。
第18号	S61.02.20	原 喜三	泉陽会館設立の募金目標8,000万円に対し、約3,000万円の募金が集まっています。前年に発生した日航機墜落事故では3名の同窓生が亡くなられ、追悼記事が寄せられています。高校では、音楽部が5年ぶりにNHKコンクールで入賞し、水泳部がインターハイに出場しています。

号	発行日	会 長	主な記事や内容
第19号	S62.02.20	原 喜三	泉陽会館設立の募金は4,300万円を超えました。設計並びに建設業者は一般公募されており、数件の応募が集まっています。OB対談として、旭堂小南稜(西野康雄)さんと沢口靖子さんの対談記事が掲載されています。
第20号	S63.02.20	原 喜三	準備金、募金を元に、総工費8,000万円の泉陽会館の建設に着手しました。当初は3階建てを予定していましたが、地盤調査の結果、2階建てとなりました。また、90周年記念誌の発行に向けての準備が始まっています。クラブOBの活動報告として、天文気象部、美術部、生物部、野球部、音楽部からの記事が寄せられています。
第21号	H1.02.20	原 喜三	念願の同窓会館(泉陽会館)が竣工しました。最終的に5,600万円もの募金が寄せられ、まさに会員のみなさまの協力の下、完成した会館です。泉陽会館使用規程も定められ、同窓会会員に広く利用できるようにしています。
第22号	H2.02.20	原 喜三	創立90周年記念号として発行されました。旭堂小南稜(西野康雄)さんが平成元年度に参議院に当選し、インタビュー記事が掲載されています。大阪狭山市役所内にも泉陽会が設置され、活動報告も寄せられています。
第23号	H3.02.20	原 喜三	創立90周年記念式典、祝賀会の様子が報告されています。平成2年10月13日、大阪フェスティバルホールで開催され、S40年卒の松井氏(MBSアナウンサー)による軽妙な司会で盛り上がったようです。90周年記念誌も発行されました。
第24号	H4.02.20	原 喜三	特集記事は堺市博物館で開催された、「没50年記念特別展 与謝野晶子—その生涯と作品」の紹介など、与謝野晶子の記事がまとめられています。『伝言板』も34の期の記事が寄せられ、ほぼ1ページが埋まっています。
第25号	H5.02.20	原 喜三	泉陽会役員、執行委員は総勢68名と、多くの卒業生に泉陽会活動が支えられています。泉陽会の部活動も、囲碁部、ゴルフの部、旅行の部、コーラスの部と活発な活動が行われています。平成5年1月17日、没後50周年を記念して『与謝野晶子研究会』が発足しました。また、平成4年11月には、サッカー部のOB会も設立されました。
第26号	H6.02.28	原 喜三	この年から、いづみはカラー刷りとなりました。4月に「泉陽むすびの会」が発足し、30名の体制で結婚適齢期の会員、ご子息・ご令嬢の支援が開始されました。
第27号	H7.02.28	原 喜三	泉陽会館の前にある「野球部史の記念碑」が建立され、H6.11.10.6に除幕式が行われました。泉陽なでしこコーラスも20周年を迎え、コンサートが行われています。この年の阪神大震災に対しては、義援金100万円を寄託し、被災地の泉陽会員800余名にお見舞い状を発送しています。
第28号	H8.02.29	原 喜三	泉陽カメラクラブが発足しました。この頃から『同窓会だより』について、各期の同窓会の記事が多く寄せられるようになりました。5年後の100周年に向けて、100周年組織強化委員会が設置され、「泉陽文化基金」の設立、100周年写真集の発刊などが計画されています。
第29号	H9.02.25	原 喜三	執行部は80人体制で構成されており、3年に1度、全執行委員をいづみで紹介することとしています。同窓会の報告も写真が掲載され、華やかになっています。陸上競技部にOB会が設立され、活動が開始されています。
第30号	H10.02.25	原 喜三	泉陽会の新しい名簿が完成し、頒布が開始されています。特集記事として、『とんでる同窓生(泉陽卒の有名人)第1弾』として、与謝野晶子、城みさを、山崎雪子、橋田壽賀子、和田武子、宮川渉、永田豊、旭堂小南稜(西野康雄)、沢口靖子などの各氏が紹介されています。
第31号	H11.02.25	原 喜三	いづみの体裁が現在のA4版の形式となりました。来年度の100周年に向けて、ご協力とご寄付のお願いが掲載されています。「とんでる同窓生(泉陽卒の味のある人)第2弾」として、由起しげ子、山根淑子、三木俊子、堀田雄三、松井昭憲、あずみけいこなどの各氏が紹介されています。
第32号	H12.02.22	原 喜三	創立100周年の記念事業として、記念誌、記念ビデオ、記念碑、公開講座、芸術作品展、記念植樹、スポーツ大会、音楽会といった数多くの事業が実施されました。100周年記念インタビューとして、黒川芳朝(大阪府教育長)、川端 稔(堺市教育長)、塙 四郎(泉大津市教育長)、藤原カネ(和泉市初代助成校長)など、泉陽出身の著名人のインタビュー記事が掲載されています。
第33号	H13.02.22	原 喜三	100周年の記念事業として、行事委員会、公開講座委員会、スポーツ大会委員会、音楽委員会、施設等充実委員会、芸術作品展委員会、記念誌委員会、建碑委員会、映像制作委員会などが数多くの式典を実施したことが報告されています。記念碑は祥祥の地である開口神社に建立されました。生徒委員会では、100周年事業の一環として航空写真による人文字、TV番組「学校へ行こう」に出演されています。
第34号	H14.02.23	中林 正人	次の100年に向けての体制として、事務局、庶務委員会、総務委員会、会員親睦委員会、泉陽むすびの会、いづみ委員会、名簿委員会、IT委員会による活動が展開されています。『ちょっと紹介したい同窓会』の記事では、武藤紘子、宮 哲之、春木英代(ひきたま)などの各氏や、瀬川瑛子さんの夫、清水 武さんの紹介記事が掲載されています。
第35号	H15.02.22	中林 正人	2004年春に豪華客船、ふじ丸の3泊4日のクルーズ旅行が企画されました。同窓会だよりは19の期から記事が提供されており、各期の盛り上がりを感じられます。
第36号	H16.02.22	中林 正人	記念クルーズ委員会より、4月15日出航の案内が報告されています。泉陽会の課題として、いづみの発行時期があげられており、総会の報告や母校の状況、先生方の異動の情報提供の適時性から、6月発行への変更が検討されていることが報告されています。
第37号	H17.06.27	中林 正人	いづみの発行時期が定時総会終了後の6月に変更されました。新たな事業として、公開講座と少年サッカー大会が開始されることが報告されています。旭堂小南稜(西野康雄)さんが大阪文化祭賞グランプリ賞を受賞され、また、古本市で与謝野晶子全集に収録されていない短歌10首を発見されたことが掲載されています。

号	発行日	会 長	主な記事や内容
第38号	H18.06.01	萩原 由紀	泉陽会館が改修され、改修された会館で総会が実施され、新会長が選出されました。委員会組織も事務局、組織委員会、泉陽むすびの会、広報委員会、名簿委員会、財務委員会と、現在の組織に近い形になりました。サッカー部が創部50周年を迎え、講演会、記念式典を実施したことが報告されています。発足12年経過したむすびの会、100組目のカップル成立となりました。
第39号	H19.05.26	萩原 由紀	東京支部が50周年を迎え、記念記事が掲載されています。資料展示用の大ケース、中ケースが制作され、展示室内に設置されました。新たにバスケット部のOB会が設立されています。バレー部のOB会もくれん会は三国丘高校との定期戦50周年、平成20年で創部60周年を迎えることが報告されています。泉陽なでしこコーラス、泉陽混声合唱団、混声合唱団「陽」、合唱団ひだまり、泉陽高校音楽部による総勢130名のコーラスフェスティバルが行われました。
第40号	H20.05.31	萩原 由紀	平成20年4月6日に開催された総会は、過去最多の参加人数となりました。懇親会では関西の草分け的ソウルシンガー大上瑠璃子さんのライブなど、執行委員の席もないほどの大盛況だったようです。
第41号	H21.05.31	萩原 由紀	110周年に向けて、役員任期が2年から3年に延長されました。一昨年に引き続き、泉陽なでしこコーラス、泉陽混声合唱団、混声合唱団「陽」、合唱団ひだまりと泉陽高校音楽部によるコーラスフェスティバルが10月18日に開催されることが報告されています。110周年記念事業として、会員名簿の発行、記念式典及び祝賀会開催、グランドピアノ贈呈が計画されています。
第42号	H22.05.31	萩原 由紀	東海支部が6月10日の最後の宴で解散したことが報告されています。天文学クラブの創部60周年記念同窓会の報告が掲載されています。60期生の成人記念同窓会が230名の出席者で開催されたことが報告されています。
第43号	H23.05.31	萩原 由紀	創立110周年式典の様子の報告、沢口靖子さんが参加した祝賀会の様子が報告されています。卒50周年記念同窓会(昭和35年卒)、卒30周年記念同窓会(昭和55年卒)など、記念同窓会も行われています。110周年を記念し、同窓会名簿が発行されました。
第44号	H24.05.31	萩原 由紀	公開講座「堺幕府のあった堺(松本多加三 S41年卒)」の様子、旭堂南陵(西野康雄)さん「芸術祭大賞」受賞などが報告されています。記念同窓会もさかんであり、卒業60周年傘寿記念同窓会(S27年卒)、祝還暦学年同窓会(S46年卒)、成人式記念同窓会(平成22年卒)が報告されています。この年から、泉陽会が成人式記念同窓会のサポートを行うようになりました。
第45号	H25.05.31	萩原 由紀	来年度より、総会後の懇親会の参加費を徴収することとなりました。泉陽高校に支援人材バンクが設立され、人材募集の記事が掲載されています。公開講座は「これからの地域づくり まちづくりを考える(狭間恵三子 堺市副市長 S35年卒)」が行われ、大阪城ホールにて石若雅弥さん(52期)が日本のうたごえ祭典の指揮をとったことが報告されています。
第46号	H26.05.31	萩原 由紀	特集記事は「与謝野晶子特集」として、堺を詠んだ短歌や「堺と与謝野晶子を巡る 文学散歩」の記事が掲載されています。また、「世界芸術家辞典」に和田武子さん(S26年卒)の与謝野晶子像が掲載されたことが紹介されています。高校では、2名が日本学生科学賞を受賞しました。
第47号	H27.05.31	萩原 由紀	創立115周年に向けて、記念クルーズが企画されました。各方面で活躍するOBたちでは、パティシエ宮本雅巳さん(S58年卒)などが紹介されています。総会では、直木賞を受賞した西加奈子さん(H8年卒)の著書が高校へ贈呈されました。
第48号	H28.05.31	萩原 由紀	115周年記念行事として実施した、『にっぽん丸でゆく春の瀬戸内・日南クルーズ』が45名の参加者で実施されたことが報告されています。また、115周年の記念として、校旗を新調し高校に贈呈されました。例年のいづみの発送には、35の期の方々に参加し、平成卒業期も5学年が参加しています。「(仮称)石若雅弥氏と歌う会」が設立され、参加者募集記事が掲載されました。
第49号	H29.05.31	伊藤 裕康	いづみの構成が縦書きの新聞記事形式から、横書きに変更されました。ホームページをリニューアルし、お問い合わせ、名簿登録内容変更やいづみのバックナンバーが閲覧できるようになりました。クラブOB会の紹介として、野球部(泉球会)の記事が掲載されています。
第50号	H30.05.31	伊藤 裕康	いづみの読後アンケートの収集が開始されました。高校への支援として、近畿大会や全国大会などの活躍をされたクラブに対して、報奨金を提供する活動も開始されました。クラブOB・OG会については、クラブ交流会の取組みも新たに開始され、交流会に向けての代表者会議には11のOB・OG会が参加しました。
第51号	R1.05.31	伊藤 裕康	第1回クラブ交流会が6月2日に開催されることが報告されています。卒業生クラブだよりには、サッカー部、柔道部(泉柔会)、剣道部、卓球部、野球部からの記事が掲載されています。細川 維さん(S34年卒)がH28年の堺市功労者表彰に続き、文部科学大臣表彰を受賞されたことが紹介されています。

改めて52のいづみを見てみると、各号とも編集委員が工夫をこらして記事を集め、つくりあげていたことを実感しました。これからのいづみも、会員様のご意見や過去のよいところも取り入れながら、誌面を充実していきたいと思えます。泉陽会館では、過去のいづみを保管しています。閲覧したい方は、お気軽にお申し付けください。



創刊号(P4~P5)



第14号(創立80周年)



第26号(初のカラースペシャル)

卒業生クラブだより

野球部

昨年、今年と、甲子園出場した当時の浅野勝さん、西岡堆二さん(7期)森田実さん(10期)が、相次いでお亡くなりになりました。OB会の継続してのご尽力をいただいた方々のご冥福をお祈りいたします。

“みんなでつかんだ3勝悔いの残る1敗！”

石崎雅哉(46期生)

新チーム初めての公式戦秋季大会1回戦、決して強くない相手にコールド負けを喫して、「私達はこのままでは勝てない。」という危機感を持ちながらのスタートでした。冬のトレーニングではどうすれば技術が向上するかを選手同士でしっかり話し合い、今後の取り組み方向をみんなで共有出来たことで上達するとともに、結束が強くなりました。



春季大会1回戦で念願の公式戦1勝。2回戦では大商学園(広島カープ・田中由基在籍)と対戦。1-4で敗れたものの、大商学園(本大会準優勝)に善戦したことでチームが勇気づけられ、その後の自信となりました。そして、絶対に勝つという強い気持ちで臨んだ夏季大会(第75回記念大会)1回戦は、秋季大会ベスト8の池田高校との対戦。雨が降る中、先制されながらもエース平木の好投、6番宮下のホームランなどで、運よく4-2で勝利をつかむことができました。勝つ喜びをこんなに感じたことはなかったです。2回戦は汎愛高校戦を1-0(延長戦)で下し、3回戦の淀川工業戦も2-1と苦しいながらも下し、3つ勝つことができました。この3勝は、信頼度120%の平木-杉本バッテリー、キャプテン森田を中心とした内野陣、副キャプテン梶谷を中心とした外野陣、そして、ランナーコーチや練習でバックアップしてくれた控えなど、全員で勝ち取ったものだといえます。特に、同期3人のマネージャーにはスコアラーとして、1勝ずつプレゼントするという事でベンチ入りか叶い、3回戦の士気が上がったことを覚えています。さらには、私たちの身勝手で、急に監督をお願いしたにもかかわらず、快諾を頂いた福島恵三先生には、感謝の言葉もありません。ご指導いただいた先輩方も本当にありがとうございました。夏季大会に戻りますと、4回戦の相手は2次抽選の結果、3回戦(寝屋川球場、第3試合)の翌日(万博球場、第1試合)という強行日程の中、強豪東海大仰星(日本ハム・建山、巨人・上原在籍)と決まりました。エース平木が先発できず、苦しい展開となり、ジリジリと点差を広げられて、0-7でコールド負け。その時、『高校野球が終わった…』と思うと同時に、初めから真剣に取り組んでいれば、もっと上に行けたのではないかと悔しさも込み上げてきました。現役の選手には同じ思いをしなくて済むような、悔いのない3年間にしてもらえたらいいなあと思います。逆に今の私は、その悔しさを「マスターズ甲子園」にぶつけてやろうと思っています。現役時代叶わなかった甲子園球場で野球をする楽しみをめざして、『マスターズ甲子園』参加実現に向けて、皆様方のお力添えを頂けるとありがたく存じます。『めざせ！ 泉陽甲子園』

主将は語る(66期生)

亀田優翔(H26卒 66期生)

66期主将の亀田優翔と申します。66期野球部は同級生7名と例年よりも非常に人数が少ない代でした。しかし人数の少なさを

感じさせず、お互い切磋琢磨し、互いに競い合う仲間でした。今はなかなか会えないですが、それぞれの場所で、それぞれが大事な役割を担い、活躍しているのではないかと思います。



り最後の夏の大会を思い出します。

私が抽選会にて2年連続で初戦城東工科高校との試合を引き当てたときから早7年が経とうとします。当時は今年の悔しさを晴らすために最高の舞台が整ったと考えていました。試合は終盤の猛烈な追い上げも叶わず、惜しくも負けてしまい、夏に1勝することの難しさを身をもって経験しました。試合後の途方もない悔しさとともに、2年半の中で「もっと努力できた部分があったのでは」と後悔も同時にこみ上げていたのが、7年も経ったとは思えないほど最近のことのように思い出されます。ぜひ現役の選手には、すべてやり切ったと思えるように日々の練習を大事にして頂きたいと思います。泉陽高校硬式野球部での3年間でさらに私自身を成長させることができたと思いますし、その3年間での学びや経験が社会人となった今、さらに活かしています。忘れることができないこの高校球児としての時間は、今後の人生においても大きな支えになると考えています。

主将は語る(67期生)

上野佳祐(H27卒 67期生)

67期主将の上野佳祐と申します。私達67期は選手11名、マネージャー4名の計15名でした。新チーム発足時決めた「ベスト8」という目標に向け、毎日練習に打ち込んでいた日々を今もよく振り返ります。

67期の特徴は、なんといってもバッティングです。新チームが始まった頃は「8点取られてもええから、10点取れ。」と古川先生からよくゲキが出されたのを思い出します。その打撃を武器に秋3勝し、徐々に自信を付けていました。課題は明らかであったため、投手力・守備力を向上させるべく、古川先生の指導のもと、投手陣の冬期間の朝練を週3から、週5に増やし、課題克服に励みました。限られた時間の放課後練習では下半身トレーニングやランメニューを大きく変え、夏の酷暑の中戦い抜くための基礎体力と体づくりに励みました。

冬が明け、春大では冬の成果を発揮し、2勝をもぎ取る事ができました。しかし3回戦関西創価戦は大敗を喫しました。その悔しさをバネに、夏に向けて力をさらにつけていく事ができました。春大3回戦で負けてから、夏大を迎えるまで練習試合での負けはありませんでした。それには同級生はもちろん、68期・69期の後輩も含め、全員で同じ目標に向かって頑張る事ができたからだとか心から感じています。

そして3年生最後の夏の大会。大会直前の練習や練習試合には多くの先輩方が学校に来て、勇気をくださったことを覚えています。初戦は精華高校でした。花園セントラルスタジアムの3塁側のスタンドには溢れんばかりの応援団がいました。試合は序盤から投手戦となり、両チーム0点で試合が進みました。しかし3回にタイムリー2本で2点先制し、泉陽ペースとなりました。そのまま試合は進み6回裏に1アウト満塁のピンチがやってきました。マウンドに集まり、「大丈夫。俺らの方がしんどいことしてきた。絶対抑えられる。」と鼓舞し合い、そのあとを三ゴロ、三振でピンチを0点で乗り越える事

ができました。その時のベンチに戻るときに感じたなんとも言えない感情と、浴びた歓声は忘れることはできません。さらに8回にダメ押し2点を追加し、4-1で勝利する事ができました。バックスクリーンに向かって並び、校歌が流れた途端涙が溢れて、ほとんど校歌を歌えなかったのが思い出されます。そしてスタンド挨拶の時、古川先生も涙を流しており、その後二人で抱き合ったことも一生の思い出です(QRコード)。その後2回戦は堺上高校に完封勝利をあげ、その時には全力で校歌を歌う事ができました。



います。私は泉陽高校野球部での3年間を通じて多くのことを学ぶことができました。特に「全員で目標に向かって努力する素晴らしさ。多くの人から支えられているという気づき。」これらの学びが今の私の支えとなっています。現役の部員皆さんには、2年半という限られた時間で得られるものは一生ものになります。日々全力で野球に打ち込み、泉陽旋風を起こしてくれることを祈っています。現在、67期の15名はそれぞれの地で、泉陽野球部で学んだことを胸に全力で日々を過ごし、活躍しています。今でも年に3回ほど全員で集まり、近況報告や現役時代の思い出話を花を咲かせています。67期の仲間は私にとっては一生の宝です。また、私ごとになりますが、現在私は府立和泉高校に英語科教諭として勤務しております。また同校野球部長として、高校野球に携わらせていただいております。今後ご縁があり、泉陽高校に赴任することがあれば、野球部のお力になればと考えています。再び泉陽のエンジのユニフォームを着る日を楽しみにしながら高校野球に打ち込んでいきたいと思っております。



私達67期は65期、66期の先輩方が同じ城東工科高校に2年連続惜敗し、本当の「夏の難しさ」を目の当たりにしてきました。その先輩方をはじめ、保護者、OB会、そして指導者の先生の思いを胸に戦う事ができ、それが私達の夏の勝利に繋がったと思って

成人記念同窓会(平成31年卒71期)



令和3年1月8日 南海本線堺駅 アゴーラリージェンシー堺にて、コロナ禍の中200名近く集まり、高校時代の話に花が咲き、時のたつのを忘れた楽しいひとときでした。来賓の先生方も数名参加予定でしたが、府教委の通達により出席が取りやめになったのには残念でした。会計面も、少し余裕のある金額が残りましたので、5年後の再会を楽しみにしています。コロナ禍のため、今回は集合写真は撮影せず、会食風景のみとなりました。



～ 卒業生は今 ～

山口珠実さん 西口真帆さん 三浦千春さん

今回は70期生の茶道部だった3名の卒業生に登場して頂きます。

広報:今回は茶道部のミニ同窓会に突然お邪魔させて頂きました。いきなりの取材を快くお引き受けいただき有難うございます。皆さん大学生と聞いています。昨年2月末の緊急事態宣言から一年間どのような学生生活でしたでしょうか？
まず始めにそれぞれの大学での学部や専攻を、もしよろしければ教えていただき、どのような一年を過ごされたかをお一人ずつ聞かせてください。

山口:大阪府立大学 地域保健学域 教育福祉学類です。前期は全てオンラインでの授業、後期もゼミナールなど、少人数の授業は対面で行われましたが、ほとんどオンラインでした。私の学部はグループワークを行う授業も多く、オンラインでは不自由な場面が多かったです。

広報:それは大変でしたね。西口さんもオンラインでしたか？

西口:私は大阪市立大学理学部化学科です。前期の講義は全てオンラインで行われました。後期の講義のうち、実験だけは対面で行われましたが、人数を減らしてのものとなったため、時間などの関係もあり、コロナが流行する前には行われていた実験の操作のいくつかを省いたものになっていました。

広報:そうですね？ それはなかなか大変でしたね。三浦さんはどうでしたか？

三浦:大阪府立大学 生命環境科学域 理学類 生物科学課程です。私も前期は学校には行けず、全てオンラインでの授業でした。後期は初め、対面授業だったので学校へ行って授業を受けていましたが、コロナが再び流行した頃くらいからオンライン授業に切り替わりました。実験授業だけは学校へ行き、対面で受けていました。本来なら先生の指示を目の前で聞くことができ、手元もよく見えるはずなのですが、密にならないようにと、二つの部屋を利用して授業が行われたので、教室が大きすぎて困りました。

広報:そうですね？ せっかく大学に来て大変でしたね。本当に後しばらくの辛抱だと思います。では次に今一番楽しいことは？もちろんこの一年はお家時間が長く、旅行や大学での行事も少なかったと思いますが、どんなテレビ番組やゲームにはまっていたとか、読んだ本とか今思いつくことで構いませんか。

山口:実は昨年4月に犬のウィル君をお家にお迎えしました。犬種はチャイニーズクレステッドドッグとブードルのミックスです！この子とお散歩に行くのが最近の楽しみの1つになっています。ウィル君は人が大好きで、お散歩してもすぐにいろんな人に飛びついて挨拶に行きます。その愛嬌溢れる姿を見ていると本当に癒されます(笑) コロナ禍でも、ウィル君のおかげで家族みんな明るく過ごせていたように思います。また、漫画やアニメにハマってしまい、今もたくさん作品の連載を追いかけしています。

西口:私は最近、妹が家でよく歌を歌ったり踊ったりしているので

すが、それを見ているのが楽しいです。歳が少し離れているので、とても可愛いです。

広報:そうですね？ ご兄弟が居られるのは本当にいいですね。

三浦:私はお母さんとお話ししたり買い物に出かけたり、家事まではいかないけれど、お手伝いのこともしていました。また、テレビやサブスクなど、今まで以上に観たりしていました。ステイホームが長かったのでバイクの免許も取得しました。

普通二輪を取得したのですが、普段に乗る分に関しては小回りが利く方がいいのでPCX125を購入しました。教習所のバイクとは異なるので、慣れるまでちょっと練習が必要です。でも、車と違って小回りが効くので便利で快適ですね。

広報:それは有意義に過ごされましたね。では最後になりますが将来の夢とかお聞かせくださいますか。もちろんこの半年一年の計画でも構いません。

山口:私はこの4月から大学4年生で、現在、就職活動の真只中です。将来について迷う日々ですが、「取得予定の社会福祉士資格を生かして、公務員として働く。」というのが一番の目標です。就職活動が終わったら、残りの大学生活は、卒業論文に追われるだけでなく、やり損ねていた英語の勉強や、アロマセラピーの資格を取ったりしたいなど計画しています。

広報:忙しくなりそうですね？ 頑張ってくださいね。西口さんは？

西口:大学院に進学するつもりです。その先のことはまだ決めていないので、これから考えていこうと思っています。4月からは研究室に配属されます。私が配属される研究室では、光を使って細胞などの小さな物質を捕まえたり、移動させることが出来る、光ピンセットという技術に関する研究を行っています。

三浦:私はまだどういいう研究室に入ろうか、迷っている段階ですが、配属が成績順なので、自分が希望する研究室に入ることがとりにあらず今の目標ですかね(笑)
将来の夢は、教師になるか、研究を続けるかで迷っています。

広報:希望される研究室に入れるといいですね。今は緊急事態宣言が解除されたとはいえ、まだ人が集まりにくい状況下ですが、今日は三人の卒業生に楽しいお話を伺うことが出来ました。これからの大学生活 大学院生活大いにエンジョイして、将来の夢を叶えてください。本日は本当にありがとうございました。



写真左から三浦さん、西口さん、山口さん

令和3年卒 73期代議員クラス幹事のご紹介

今年も泉陽会にフレッシュな仲間が増えました。若い力で、ますます泉陽会の発展にご協力をお願いします。太字は代議員です。

- 1組 **大西洋輝** 城戸春乃
- 2組 **林 泉希** 永田侑子
- 3組 **田淵裕太** 永蒼 輔
- 4組 **奥村悠太** 鈴木綾乃
- 5組 **寺坂榛太** 神木彩香
- 6組 **濱野友祐** 僊石華子 道古真子
- 7組 **岡野陽太** 大西花凜
- 8組 **伊柳かのん** 山中奈緒
- 9組 **山村優歩** 上瀬遼馬



緊急事態等で総会が開催できない場合の、議案決議方法と会員への伝達方法が決まりました

昨年度は泉陽会設立以来、はじめて総会が開催できず、会則で決めた『議案は総会で承認する』が実施できなくなりました。緊急対応として「いづみ」に議案を掲載し、FAX、メールやWebアンケートで決済、意見徴収を行いました。4月の総会において、次のように正式に緊急事態対応の方法が決定されました。

《緊急事態代替方法》

- ①代議員の皆様へ総会議案書をお送りし、意見と決済聴取を行う。
- ②「いづみ」に「議案書」を掲載し会員の皆様から意見と決済聴取を行う。
- ③①及び②の聴取結果(回答をいただいた方)の半数の賛成をもって、総会による承認の代替とする。

緊急時につきましては、急な行事の変更等は会員全員(約23,000人)に確実にお知らせすることが困難です。泉陽会ホームページへの掲載を連絡手段とさせていただきますので、ご了承ください。

年会費納入のお願い

泉陽会は『会員相互の親睦を図ると共に、母校の進歩と発展に寄与することを目的』に活動を行っています(泉陽会会則第2条)。会の運営は会費・入会金及び寄付金によって運営(泉陽会会則第15条)しており、その多くを皆様からの会費によって運営させていただいております。

年会費収入の状況ですが、今期は前年度より100万円ほど下回っていますが、コンビニ振込の業者委託先からの泉陽会への振込が3月のため、計上時期がずれていることが要因です。これを加えるとおおむね前年並みとなりました。コロナ禍の中、みなさまのご協力、心より感謝申し上げます。

ただ、全体的な傾向は大きくは変わっておらず、毎年予算では、4,500千円(1,500件)を計上していますが、ここ数年は達成が困難な状態が続いています。コンビニエンスストア

も利用可能となり、会の目的である母校の進歩と発展のため、みなさまのご協力をお願いできれば幸いです。

創立120周年にあたりまして、これまでに積み立てた記念事業積立金は、「食堂空調機器設置」に寄付することとなりました。前号でお知らせしたとおり、学校側より『空調がなく、汗をかきながらの食事となり、放課後は利用をためらうなど、必ずし利便性の高い場所とはいえず、熱中症も懸念される』、『生徒の要望、保護者からも再三環境改善の依頼を受けている』との申し入れがあり、検討を行ってきました。設備工事について、2社より見積を徴収し、検討結果を総会で承認いただきました。これまでもグランドピアノの寄贈、校旗の寄贈などを行ってきましたが、このたびも生徒の教育環境の向上、充実に、皆様の年会費を活用させていただきます。

広報委員会より

今年も残念ながら、いつもご協力いただいている封緘作業は中止となりました。来年には状況も落ち着き、ふたたび封緘作業にたくさんみなさまとお会いできることを、楽しみにしております。その節は、ぜひご協力をお願い申し上げます。前号を10月に発行したこともあり、同窓会のご報告はありませんでした。このような状況の中での開催はなかなか難しいところがあります。一日も早く、平穏な日々となり、同窓会活動が活発になって誌面を彩ることができますように…。

いづみ掲載記事をお寄せください

募 集 記 事	<ul style="list-style-type: none"> ●OB、OGのご活躍の情報、紹介した同窓生の情報 ●同窓生の会社やお店の情報 ●同窓会報告 ●同窓会開催案内 ●泉陽高校関係の情報 など ※紙面の都合により、掲載されない場合があります。あしからずご了承くださいませ。
記事の文字数など	おおむね原稿用紙1枚(400字程度) それよりも多くてもかまいませんが、紙面の都合上、文脈を変えず編集することがあります。写真については2枚～3枚までにしていただくと助かります(誌面の関係ですべてが掲載されない場合があります)。送付いただいた原稿、写真の返却が必要な場合はお申し付けください。
記事の送付方法	できれば電子媒体での入稿がありがたいですが、紙媒体でも問題ありません。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 郵 送：泉陽会館に広報委員会宛てご送付ください。 ・ メール：koho@senyokai.jp

編 集 後 記

前号は記事の量も多く、いつもの16ページを20ページにしても字が小さくなりご迷惑をおかけしました。今号は一転して同窓会記事やOB・OG会の記事もない状況で四苦八苦しながら誌面をまとめました。字体も少し大きめにすることができましたが、いかがだったでしょうか。過去のいづみを振り返ってみて、母校の情報、クラブ活動や在校生の活動の記事がこの数年減少していることに気づきました。また、代議員から寄せられる伝言板も、同様の傾向が見られました。来年度に向けて、強化していきたいと思っております。

(昭和60年卒37期 吉山 論)